

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)の実績と自己評価

EGP2026は、第7次中期経営計画と合わせ、当初の予定より1年前倒しとなる2025年度で終了します。
そのため、2026年度目標は見直しを行っていません。なお、次の環境行動計画（EGP2029）は2026年7月末発行のサステナビリティレポートで公開予定です。

😊：2024年度目標達成
😐：2024年度目標未達成（達成率90%以上）
😞：2024年度目標未達成（達成率90%未満）

■気候変動の緩和と適応

チャレンジ・ゼロ	管理指標（KPI）	2021実績	2022実績	2023実績	2024目標	2024実績	2025目標	2026目標	該当ページ	
①まちづくりにおけるCO ₂ の チャレンジ・ゼロ	商品の使用によるGHG排出量削減率（総量）2015年度比	29.4%削減	39.3%削減	52.2%削減	54%削減	59.8%削減	😊	56%削減	58%削減	P020・141
	ZEH率※イ	53%	86%	97%	90%	99%	😊	95%	90%	P021・142
	ZEH-M率【賃貸住宅】	3%	14.2%	48.7%	50%	73.1%	😊	75%	50%	P021・142
	ZEH-M率【分譲マンション】	35%	67.5%	90.5%	100%	100%	😊	100%	100%	P021・142
	ZEB率	38%	65.7%	68.5%	73%	66.2%	😐※1	70%	80%	P022・142
	ZEH改修相当棟数	1,478棟	1,472棟	3,789棟	3,800棟	4,555棟	😊	4,700棟	4,000棟	P022・143
	再エネ発電設備 施工実績（EPC）※ロ	2,526MW	2,706MW	3,075MW	3,400MW	3,311MW	😐※2	3,750MW	4,200MW	P132
	再エネ発電所 開発・運営実績（IPP）※ハ	561MW	602MW	700MW	800MW	877MW	😊	1,100MW	1,550MW	P022・132
②事業活動におけるCO ₂ の チャレンジ・ゼロ	事業活動によるGHG排出量削減率（総量）2015年度比	20.8%削減	33.5%削減	26.3%増加	52%削減	58.1%削減	😊	54%削減	55%削減	P020・147
	電化の推進ーグリーンエネルギー自動車導入率【社用車】	0.3%	2.8%	6.3%	13%	9.3%	😞※3	16%	30%	P025・152
	電化の推進ーグリーンエネルギー自動車導入率【マイカー】		1.0%	2.0%	4%	2.5%	😞※3	7%	10%	P025・152
	エネルギー効率（EP100） 2015年度比	1.47倍	1.50倍	1.81倍	1.83倍	2.0倍	😊	2.0倍	1.9倍	P024・148
	再エネ利用率（RE100）	18.2%	41.5%	81.8%	100%	98.9%	😐※4	100%	100%	P024・149
	新築自社施設のZEB率	—	75.0%	38.7%	100%	68.1%	😞※5	100%	100%	P152
	新築自社施設の太陽光発電設備搭載率	—	34.8%	55.6%	100%	53.8%	😞※5	100%	100%	P152
③サプライチェーンにおけるCO ₂ の チャレンジ・ゼロ	主要サプライヤーによるSBT水準※ニのGHG削減目標設定率	34.0%	65.9%	57.7%	80%	71.2%	😞※6	90%	90%	P026・153
	再エネ・省エネソリューションの契約件数（支援件数）（累積）	—	9件	15件	25件	19件	😞※7	29件	50件	P153

自己評価（目標未達成の理由・今後の対応）

- ※1:事務所や介護施設のZEB化が進まなかったことで、2024年度のZEB率は66.2%となり目標の73%を達成することができませんでした。今後は、ZEB事例の社内への水平展開や、初期段階でのZEB提案を行い、ZEB率の向上を図ります。
- ※2:オフサイトPPA事業が計画的に進まなかったため、2024年度の再エネ発電設備 施工実績(EPC)は3,311MWとなり、目標の3,400MWを達成することができませんでした。今後は、大手エネルギー会社とのアライアンス構築によりオフサイトPPA事業を推進し、再エネ発電設備の施工実績を増やしていきます。
- ※3:市場に展開されているグリーンエネルギー自動車では、業務で必要とする走行距離に対して航続距離が不足しています。また、商業施設やビルの中に入居している事業所への充電設備の設置が進まないことや、事業所近隣で充電設備の確保が困難であることなどを理由に、2024年度のグリーンエネルギー自動車導入率は、社用車が9.3%、マイカーが2.5%となり、目標の13%、4%を達成することができませんでした。今後は、自社施設への充電設備の設置を計画的に行い、商業施設やビルの中に入居している事業所においては充電可能な駐車場の確保について検討を進めることで、グリーンエネルギー自動車の導入を促進していきます。
- ※4:現状、当社グループとして対応可能な再生可能エネルギー化は完了したものの、当社の大阪ビル・東京ビルのガスコジェネレーションシステムによる発電電力の再生可能エネルギー化ができないこと、また海外の一部の国で再エネ証書の調達ができなかったことにより、再エネ利用率は2024年度98.9%となり目標の100%を達成することができませんでした。今後も、再エネ調達に関する社外の動向を注視しながら、同水準の取り組みを継続し、100%に近い再エネ利用率を維持していきます。
- ※5:複数のテナントが入居する複合施設では、各テナントの設備仕様が決まっていることや、太陽光発電設備を搭載する屋根面積が十分でないことなどの理由で、2024年度の新築自社施設のZEB率は68.1%、太陽光発電設備搭載率は53.8%となり、目標の100%を達成することができませんでした。今後は、計画の初期段階から入居テナントに対して省エネルギー化を要請し、小容量の太陽光発電システムを標準化して展開することで、目標達成を目指します。
- ※6:「脱炭素ダイアログ」や研修活動を中心にサプライヤーとの対話を実施しましたが、主要サプライヤーによるSBT水準のGHG削減目標設定率は、2024年度71.2%となり目標の80%を達成することができませんでした。今後は、GHG排出量が多い鉄鋼・セメント関連のサプライヤーや、目標レベルの引き上げが必要な中小企業との対話を中心に、サプライヤーの削減目標レベルの向上と目標達成に向けた支援を強化します。
- ※7:サプライヤーへ十分な再エネ・省エネソリューションの提案ができなかったことにより、2024年度の再エネ・省エネソリューション契約件数(支援件数)(累積)は、19件となり目標の25件を達成することができませんでした。今後は、サプライヤーの脱炭素への取り組みの一助となるように、再エネメニューやオンサイトPPAの提案を積極的に実施していきます。
- ※イ:北海道を除く。
- ※ロ:2011年度からの累積値。
- ※ハ:各年度末の稼働容量。自家消費を除く。
- ※ニ:2022年度までは、2°C水準(GHG排出量を毎年1.23%以上削減)としていましたが、2023年度以降は、WB2°C水準(同2.5%以上削減)へ目標を引き上げました。(「WB2°C」とは、世界の気温上昇を産業革命前より2°Cを十分に下回る水準に抑える温室効果ガス削減目標。)

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)の実績と自己評価

EGP2026は、第7次中期経営計画と合わせ、当初の予定より1年前倒しとなる2025年度で終了します。
そのため、2026年度目標は見直しを行っていません。なお、次の環境行動計画（EGP2029）は2026年7月末発行のサステナビリティレポートで公開予定です。

😊：2024年度目標達成
😐：2024年度目標未達成（達成率90%以上）
😞：2024年度目標未達成（達成率90%未満）

■自然環境との調和（生物多様性保全）

チャレンジ・ゼロ	管理指標（KPI）	2021実績	2022実績	2023実績	2024目標	2024実績		2025目標	2026目標	該当ページ
④森林破壊の チャレンジ・ゼロ	調達木材におけるCランク木材比率	2.7%	3.1%	1.0%	1%	0.5%	😊	0.5%	0%	P032・157
	森林破壊ゼロ方針設定率【1次サプライヤー】	—	6.1%	45.6%	70%	81.1%	😊	90%	90%	P157
	森林破壊ゼロ方針設定率【2次サプライヤー以降】	—	0%	2.6%	30%	7.5%	😞※8	20%	50%	P157
	持続可能なコンクリート型枠採用比率（棟数ベース）	—	—	—	50%	83.1%	😊	60%	70%	P032・158
⑤生物多様性損失の チャレンジ・ゼロ	生態系に配慮した緑被面積（累積）	—	25.7万㎡	46.4万㎡	60万㎡	71.1万㎡	😊	90万㎡	100万㎡	P033・158
	自社施設の重要サイトにおける管理保全計画の策定・実施率	—	1次スクリーニング完了 重要度判定実施中	11.4%	14%	14.7%	😊	28%	100%	P159
	Daiwa Plastics Smart Projectの推進 —プラ素材配布物品代替率【オフィス等】	当社：81% グループ：92%	当社：83% グループ：74%	当社：90.9% グループ：92.6%	100%	当社：97.2% グループ：94.4%	😐※9	100%	100%	P159

自己評価（目標未達成の理由・今後の対応）

※8：2024年度は、1次サプライヤーに対して森林破壊ゼロ方針の設定と、その先の2次サプライヤー以降への展開を求めましたが、2024年度の森林破壊ゼロ方針設定率【2次サプライヤー以降】は、7.5%となり目標の30%を達成することができませんでした。今後は、1次サプライヤーにサプライチェーンの可視化を求めるとともに、調達量の多い2次サプライヤーに対しては森林破壊ゼロ方針への賛同を求めています。

※9：2024年度は、一部在庫の使い捨てプラスチック製品を使用したことにより、2024年度のプラ素材配布物品代替率【オフィス等】は、当社単体で97.2%、当社を除くグループ会社全体で94.4%となり、目標の100%を達成することができませんでした。今後も、ガイドラインの周知を徹底し、プラスチック素材以外への切り替えや、挨拶品の紙包装への切り替え等を実施し、プラスチック製品の適正利用を推進します。

■資源循環・水環境保全（長寿命化・廃棄物削減）

チャレンジ・ゼロ	管理指標（KPI）	2021実績	2022実績	2023実績	2024目標	2024実績		2025目標	2026目標	該当ページ
⑥資源利用・廃棄物の チャレンジ・ゼロ	資産有効活用促進件数	3,989件	4,276件	3,289件	2,900件	2,713件	😐※10	2,800件	3,100件	P038・160
	建物長寿命化促進件数	3,246件	8,984件	8,929件	7,045件	8,434件	😊	8,400件	7,150件	P038・160
	廃プラのマテリアルリサイクル率【生産】	10.9%	16.8%	21.6%	22%	24.5%	😊	26%	30%	P040・160
	Daiwa Plastics Smart Projectの推進 —特定アメニティプラ製品削減率【ホテル】 2021年度比	—	3.0%増加	8.2%削減	17%削減	9.5%削減	😞※11	32%削減	50%削減	P040・161
	Daiwa Plastics Smart Projectの推進 —特定アメニティプラ製品マテリアルリサイクル率【ホテル】	—	0%	0.03%	1%	0.6%	😞※11	25%	50%	P161
	主要サプライヤーによる廃棄物ゼロエミッション目標設定率	34.5%	34.6%	41.8%	70%	49.5%	😞※12	80%	90%	P040・161
—	建設廃棄物排出量【生産】（売上高あたり）	57.5kg/百万円	53.8kg/百万円	50.8kg/百万円	60kg/百万円	52.8kg/百万円	😊	60kg/百万円	60kg/百万円	P163
	建設廃棄物排出量【施工】（㎡あたり）	20.0kg/㎡	19.0kg/㎡	18.9kg/㎡	19kg/㎡	18.4kg/㎡	😊	19kg/㎡	19kg/㎡	P163
	建設廃棄物のリサイクル率	97.7%	97.9%	97.6%	98%	98.0%	😊	98%	99%	P162
⑦水リスクの チャレンジ・ゼロ	居住用途およびホテルにおける節水機器の採用率	89.8%	96.8%	98.3%	99%	99.2%	😊	99.3%	99%	P042・164
	売上高あたりの水使用量削減率 2012年度比	46.8%削減	42.7%削減	42.3%削減	43%削減	56.5%削減	😊	44%削減	45%削減	P164
	主要サプライヤーにおける水リスク調査実施率	—	85.5%	93.9%	97%	98.6%	😊	99%	100%	P043・166

自己評価（目標未達成の理由・今後の対応）

※10：2024年度は、案件の大型化による件数の減少により、資産有効活用促進件数が2,713件となり、目標の2,900件を達成することができませんでした。今後は、断熱改修を含むバリューアップを施したモデルハウスをさらに展開することなどにより、リブネス事業による買取再販の認知度向上を図り、資産の有効な活用を促進します。

※11：当社グループ内のホテル利用人数の約9割を占めるダイワロイネットホテルズにおいて、アメニティの環境配慮素材への切替を進められなかったことなどが影響し、2024年度の特定期間アメニティプラ製品削減率【ホテル】は9.5%となり、目標の17%を達成することができませんでした。今後は、アメニティの植物由来プラ素材等への切替や配布方法の工夫などで、プラスチック消費量の削減を推進していきます。また、ダイワロイネットホテルズにおいて、プラスチックのリサイクル実施に向けた検討に時間を要し、2025年3月から10ホテルでマテリアルリサイクルを開始したものの、2024年度の特定期間アメニティプラ製品マテリアルリサイクル率【ホテル】は0.6%となり、目標の1%を達成することができませんでした。今後は、未実施のホテルが所在するエリアにおいて、マテリアルリサイクル事業者を探索し、実施ホテル数の拡大を目指します。

※12：2024年度は、2022年度から実施しているゼロエミダイアログを継続して実施し、サプライヤーの廃棄物処理状況の確認とリサイクル目標の設定を促してきましたが、主要サプライヤーによる廃棄物ゼロエミッション目標設定率は49.5%となり目標の70%を達成することができませんでした。今後も、ゼロエミダイアログによる対話を継続し、サプライヤーのリサイクル意識向上を目指します。

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)の実績と自己評価

EGP2026は、第7次中期経営計画と合わせ、当初の予定より1年前倒しとなる2025年度で終了します。
そのため、2026年度目標は見直しを行っていません。なお、次の環境行動計画(EGP2029)は2026年7月末発行のサステナビリティレポートで公開予定です。

😊 : 2024年度目標達成
😞 : 2024年度目標未達成(達成率90%以上)
😞 : 2024年度目標未達成(達成率90%未満)

化学物質による汚染の防止

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022実績	2023実績	2024目標	2024実績		2025目標	2026目標	該当ページ
—	室内空気質自主基準適合率	96%	97.1%	90.0%	100%	100%	😊	100%	100%	P045
	PRTR排出・移動量 削減率(売上高あたり) 2023年度比※ホ	—	—	—	0.1%削減	10.3%削減	😊	2%削減	2%削減	P045・167
	VOC排出量 削減率(売上高あたり) 2013年度比	38.5%削減	35.9%削減	39.6%削減	35%削減	54.2%削減	😊	40%削減	35%削減	P045・167

※ホ:2023年度にPRTR法の改正により対象物質が見直されたため、2024年度以降は法改正後の物質を対象とし、2023年度を基準年に設定して削減率を算出しています。

環境マネジメント

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022実績	2023実績	2024目標	2024実績		2025目標	2026目標	該当ページ
—	環境貢献型事業売上高	—	12,762億円	15,814億円	15,500億円	17,652億円	😊	17,500億円	16,000億円	P009・136
	環境社会検定試験 (e c o 検定)®取得者数	19,033名	25,080名	28,134名	30,000名	31,297名	😊	33,000名	38,000名	P015・137
	グリーン購入比率	95.6%	97.5%	99.0%	95%	99.0%	😊	95%	95%	P138
	気候変動の適応策実施状況	—	実施中	実施中	—	実施中	—	—	実施完了	P027・028